

「思いやり予算」新協定

日米署名 5年間で 1086 億円増

及しました。「抗たん性」の強化は、台湾区事などの際に在日米軍基地への攻撃を現実的な危険として想定したものであります。

新たな負担となる「日
本練習機材調達費」によ
り、5年間で総額200億円を盛り込みま
た。政府は「在日米ののみならず、自衛隊
能力向上にも資する

として正当化していく。
ですが、訓練資機材は米軍基地内に置かれ所有権は米軍側にあり、自衛隊が使える頻度などは未知数と指摘されています。

林芳正外相とクリー ン駐日米臨時代理大使	は7日、2022年6月 年度まで5年間の米軍	に回協定を提出し、3 月末までの承認を回指
「思いやり予算」(在日 米軍駐留経費負担)の 新たな特別協定を署名	した。政府は17日 に開会予定の通常国会	月未までの承認を回指 す構えです。
日本政府は昨年12 月、「思いやり予算」に かかる新たな特別協	定に基本合意。今後5 年間の負担総額は、16 ～20年度より約108	億円増の一兆四千 億円に及ぶ見込みで す。21年度は米大統領
選もあり、暫定的な協 定が交わされていました。	た。	に耐えて基地の機能を 維持する能力)の強化 を名目とする日本の「提供
7日に行われた日米 安全保障協議委員会 (2プラス2)の共同	して5年間で総額一兆 4一千億円を盛り込んだ	ことを再確認したと重